

平成29年度 地域座談会で寄せられた要望・意見・提案の対応方針等

【河内児童センター】河内・中丸自治会 参加者数：12名

No	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
1	町のホームページは見栄え等で努力が認められるが、情報量が少ないので、拡充されたい（各種会議の議事録など）。	政策推進課	平成30年10月に施行予定である、協働のまちづくりを掲げた自治基本条例の「情報共有の原則」に基づいて、町ホームページに各種行政情報等を拡充するよう努めてまいります。
2	おもてなしマイスター検定は、受験者数が少ないようだが、何時まで続けるつもりか。また、マイスター認定される基準は高すぎるので、問題内容をもっと練ってほしい。	政策推進課	検定の難易度は、マイスターを認定する趣旨や、既に実施した経緯から下げるのは困難ですが、受験者数の増加に向けて、広報周知や内容の充実を図ってまいります。
3	町のホームページは、知りたい情報までの階層が深いため、利用しにくいし、慣れない人には不親切である。	政策推進課	町ホームページは情報量の増加に伴い、階層が深くなる傾向がありますが、情報の内容によって工夫や改善に努めていきます。
4	協働の言葉は分かりにくいので、今後、使用に際しては説明を付すこと。また、意見募集をするのであれば職員が事前に実施しているのか。	政策推進課	自治基本条例において、大切なキーワードである一方、ご指摘のとおり「協働」という言葉は浸透していないため、今後、使用する際は説明を付すように配意していきます。 また、意見・提案募集につきましては、職員向けにも実施いたしました。
5	本地区にも空家が1棟あるが、町の対策について説明いただきたい。	定住少子化担当室	場所を特定した上で、町の空家等対策基本計画に則り、担当課にて対応します。
6	イヌイ薬局近くの町営住宅で取り壊された跡地（民有地）に雑草の繁茂や不法投棄が発生しているので、対応願いたい。また、土地返還後に防災など地域での活用を検討されたい。	総務課	住宅跡地については、引き続き、保全管理を実施します。 また、返還後の活用方法については、地権者との調整が必要となりますが、自治会としての意見集約をお願いします。
7	本地区では、歩行喫煙による受動喫煙被害が問題となっている。トラブルや火災等の懸念があるため、歩行喫煙防止エリアの設定などを検討したかどうか。	総務課	モラルの向上に係る取組みは進めているところではありますが、分煙・禁煙の別から検討してまいります。
8	今後、無縁仏が増えていく可能性があるため、横須賀市のように共同墓地を設置する考え方はあるか。	町民課 福祉課	本町では、取扱い例数は少ないですが、身寄りのない方が亡くなった場合、「墓地、埋葬等に関する法律」において、行旅死亡人に準じた取扱いとなります。 これからの多死社会に対しては、身寄りのない方であっても死後のことを生前整理できるように、民間事業者（葬儀社）、菩提寺、社会福祉協議会等と協働した取組みを考えております。 但し、認知症等の成年被後見人に対しては、成年後見人が成年被後見人の死後事務を行うことができることになっております。 墓地については、先祖代々の墓地のある方については永代供養を菩提寺に依頼するか、行旅死亡人にあつては5年間は延命寺で遺骨を預かっていただき、ご供養の上、無縁仏として合葬とするなど、ケースバイケースでございます。 憲法に信教の自由が保障されており、また、葬儀も多様化している現状において、本人の意志で死後事務についても、生前契約できるシステム構築が必要です。 墓地については、県の認可も必要であり、町内に寺院も複数あることから、公営墓地の設置を考えるのは難しい状況です。
9	新松田駅南口にエレベーターを設置する予定はあるか。 高齢者が踏切を渡る際に事故に発展しそうなケースがあった。	まちづくり課	新松田駅南口駅前広場計画に基づき、設置する予定ですが、現在用地交渉中ですので、完了次第施工します。
10	新松田駅の審議会を検討されているメンバー構成を教えてほしい。また、住民への周知説明・意見反映をどのようにされるのか。	まちづくり課	新松田駅周辺地域まちづくり協議会の委員構成は、学識経験者として建築学科の大学教授や駅前整備経験者、土地権利者、建物権利者、駅周辺等の自治会長、商工観光団体、交通事業者（鉄道・バス・タクシー）、行政関連（神奈川県・警察）等、それぞれの代表者20名で構成しています。 住民への周知・意見反映に関しては、現在、基本計画について協議しているため、案ができ次第で広報やホームページ、住民説明会にて周知及びご意見をいただき、反映させた上で平成30年度中に策定したいと考えています。
11	川音川のパークゴルフ場近くにぴょんぴょん橋を設置すれば、交通アクセスが向上するなど有用と思われる。	観光経済課	河川管理者である県に確認したところ、「河床整理などで河川の流れを阻害するものを整理しているため、新たに河川の流れを阻害する構築物を許可することは認められない」との回答であったことから、現行施設の利用をお願いします。

No	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
12	川音川のパークゴルフ場は現在の9Hから18Hへ拡張していただきたい。	観光経済課	18ホール化の工事費やそれに伴う付帯施設、管理運営費用など含めての収支計画を踏まえ、可能かどうか引き続き、調査研究してまいります。
13	有害獣対策は、捕獲後にどのように扱っているのか。ジビエ料理等の活用（移動解体車等）も考えられるが。	観光経済課	現在、猟友会で捕獲したイノシシ等については自家消費となっております。 当町では、現在イノシシとシカ合わせて100頭程度捕獲しています。 ジビエ料理等の活用に関して、昨年度実施した調査では、収支バランスを考慮しますと、イノシシ等で300頭必要であり、シカのみでも200頭は必要となります。 今後、この頭数を安定的に捕獲できるようになれば、獣肉解体処理施設の建設について考えていき、また、寄のドッグカフェで民間の加工処理施設から野生獣の食肉を調達し、加工・販売することで進めていくと伺っております。 また、移動解体車等については、2市8町においても導入を目指しておりましたが、運営面等で難しいこともあるため、実施にいたっておりません。今後は、課題を整理していき、導入に向けて研究していきたいと思います。
14	町民文化センターのリノベーションで来場される方用の駐車場を確保できないと、マイナス要素となる恐れがあるが、どのように対応するつもりか。	教育課	今回のリノベーションでは、スポーツクライミング施設を駐車場部の一部に設置するため、4～6台程度の駐車場が減少することが想定されましたが、駐車場利用に極力影響のないよう配慮し、2台程度の減少となりました。この部分については、マイナス要素と捉えるのではなく、新たな施設としての付加価値が上がる利点を十分理解していただくよう、広く普及・啓発してまいります。 そのために、今後は、これまで以上に施設利用者に公共交通機関の利用を推進していくとともに、従来の施設機能を低下させないよう努めていきます。
15	大規模な災害時に救援物資等の運搬を軽トラ等で予定していると聞いたが、小松新聞店との協定による対応を考えることはできないか。	安全防災担当室	他事例を調査し、検討・調整してまいります。
16	松田町の自然は素晴らしいが、昨今、山や川が荒れている。反面、豪雨等の際は大きな被害が想定されるので、しっかりとした防災対策をされたい。	安全防災担当室	川音川の河床整理に関しては、引き続き、県へ要望してまいります。 また、避難勧告等を適切に発令するなど、減災対策に努めてまいります。
17	今年の防災訓練で、開成町から防災士が来たが、松田には存在しないし、防災計画が送付されていないとお話があった。どうなっているのか。	安全防災担当室	防災士とは、NP0法人日本防災士機構が認定し、減災と社会の防災力向上のため活動するもので、今後、制度と受講についてPRに努めてまいります。 松田町の防災計画は平成24年度に策定したもので、今年度中に改定いたします。